

令和3年度 高冷地水稻生育速報(第4報)

岐阜県中山間農業研究所

1. 生育概況(7月13日調査)

調査日	年度	草丈 (cm)		茎数 (本/m ²)		葉色				葉齢	
						葉色板		SPAD値			
たかやまもち	本年	70.1	(103%)	520	(107%)	5.0	(+0.7)	44.7	(+7.2)	11.6	(+0.4)
	前年	73.4		517		5.2		42.1		11.6	
	平年	68.3		487		4.3		37.5		11.2	
あきたこまち	本年	70.2	(104%)	555	(118%)	5.0	(+1.0)	45.3	(+8.5)	12.2	(+1.3)
	前年	72.9		444		5.1		42.5		11.4	
	平年	67.2		471		4.0		36.8		10.9	
ひだほまれ	本年	76.5	(109%)	395	(96%)	4.7	(+1.5)	43.4	(+11.5)	11.5	(-0.1)
	前年	73.1		431		3.6		32.3		11.6	
	平年	70.4		412		3.2		31.9		11.6	
ひとめぼれ	本年	68.9	(102%)	633	(100%)	4.7	(+1.3)	40.8	(+8.5)	11.3	(+0.5)
	前年	70.9		615		3.9		32.5		10.7	
	平年	67.4		630		3.4		32.3		10.8	
コシヒカリ	本年	76.0	(107%)	619	(106%)	4.7	(+1.3)	42.4	(+10.3)	11.0	(+0.0)
	前年	72.6		648		3.8		32.2		11.1	
	平年	70.8		586		3.4		32.1		11.0	

栽培条件: 移植5月14日 栽植密度22.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a

平年値: 過去5年間(H28年~R2年)の平均値(あきたこまちは過去3年間の平均値)
()内の数値は対平年値

2. 気象状況と当面の管理

1) 気象概況

7月の平均気温は平年並みであったが平均最低気温は平年より高かった。日照時間は平年の6割程度と平年より少なかった。

2) 生育概況

草丈は平年並み~やや高い、茎数は平年並み~やや多い。葉色値は平年よりかなり高い。

3) 病害虫等の発生状況

イネドロオイムシの発生が見られる。

4) 今後の管理

穂肥は幼穂1cm時を目安に施用する。

当所においては下記のような穂肥施用を行った。

「たかやまもち」 7/6

「あきたこまち」 7/8

「ひだほまれ」 7/12

「ひとめぼれ」 7/12

「コシヒカリ」 7/16

○良食味米栽培について(米コン出展予定の方へ!)

本年は葉色が濃く推移しています。葉色の濃い稲に、穂肥を例年どおり施用してしまうとタンパク質含量が高くなり、食味が低下してしまいます。

良食味米を目指しているほ場で、例年より葉色が濃いほ場については、穂肥を減らすことを検討しましょう。ただし、収量は低下する可能性があるためそれを含め検討をお願いします。

令和3年(2021年)の気象図

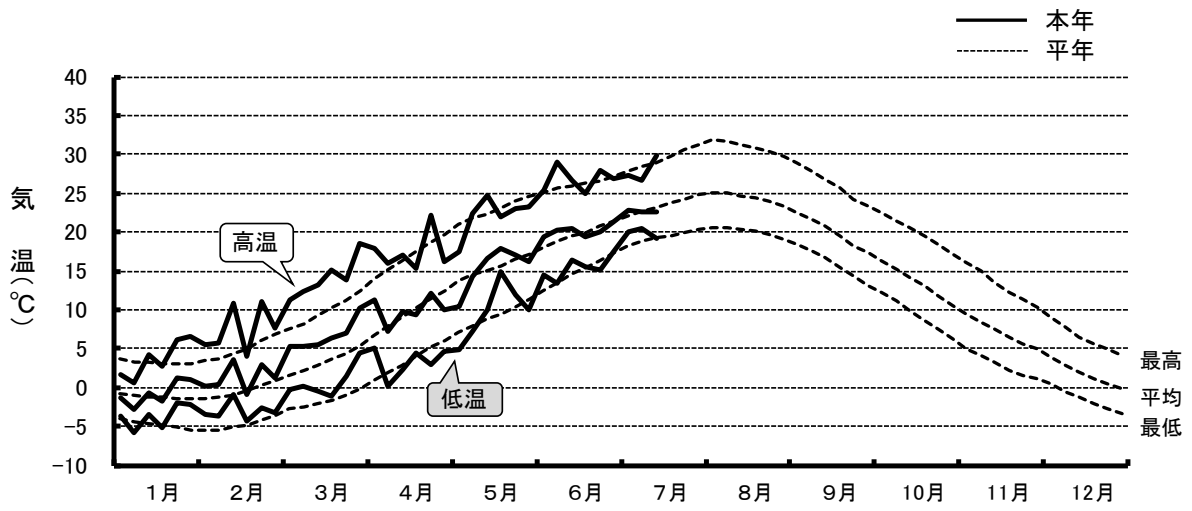


図1 本年度の半旬別気温の推移(高山市)

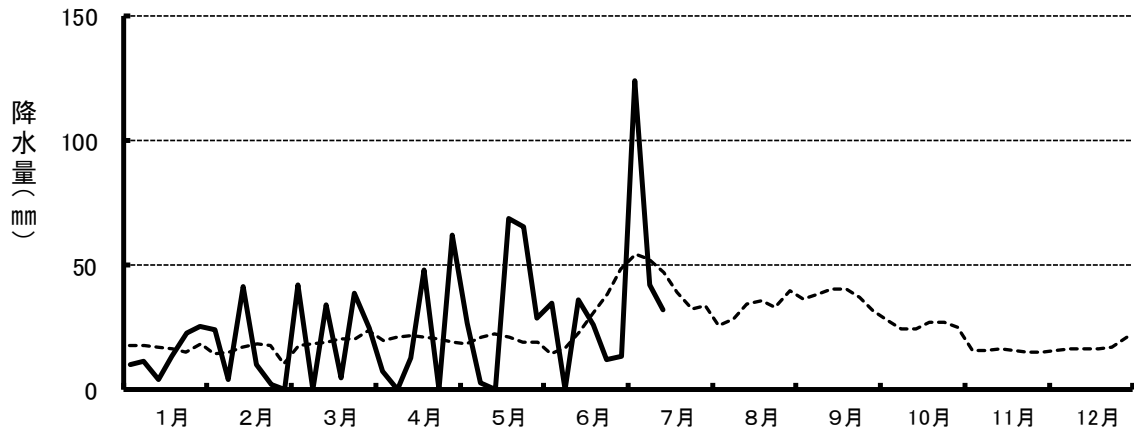


図2 本年度の半旬別降水量の推移(高山市)

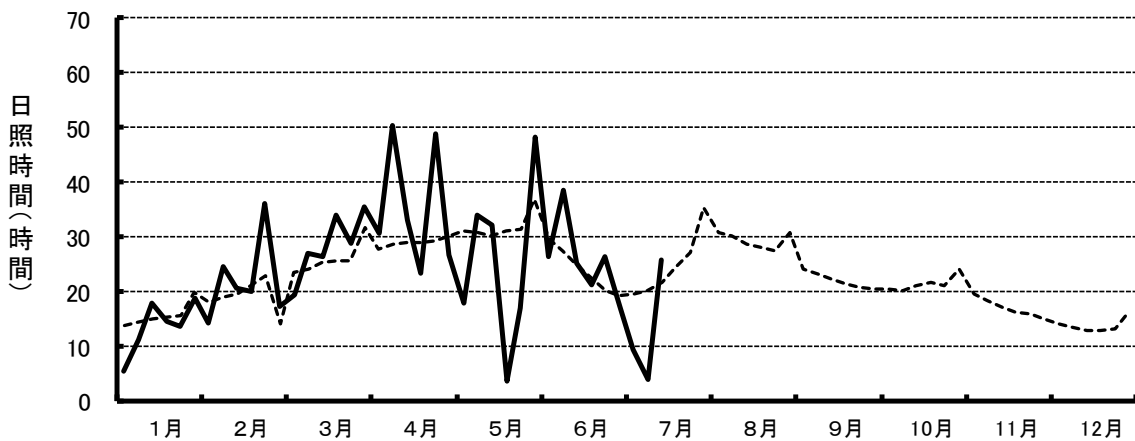


図3 本年度の半旬別日照時間の推移(高山市)

データ: 高山特別地域気象観測所